

調査対象者の属性

性別では男性の回収率が若干低く、年代別では10代～30代の回収率が低くなった。これは前回の調査（平成12年）と同様の傾向である。全体的には属性項目別に幅広い層の回答を得ることができ、クロス分析には支障のないものと考えられる。

なお、各質問事項の属性別評価の際には、関連の深い属性による比較を主とし、全ての属性項目による比較分析は行わないものとする。

1-(1) 性別

図 -1 性別 n=1,901

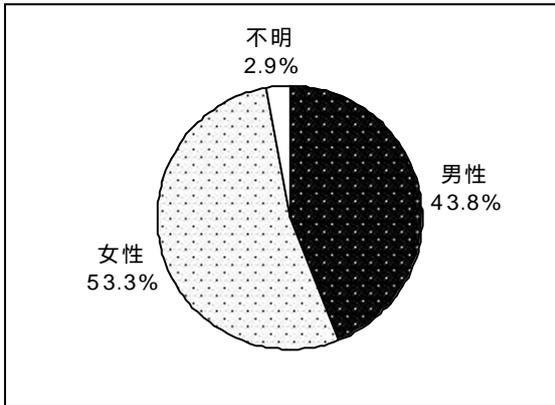


表 -1 性別

性別	人数(人)	構成比(%)	回収率(%)
男性	832	43.8	41.6
女性	1,013	53.3	50.7
不明	56	2.9	-
計	1,901	100.0	47.5

1-(2) 年代

図 -2 年代 n=1,901

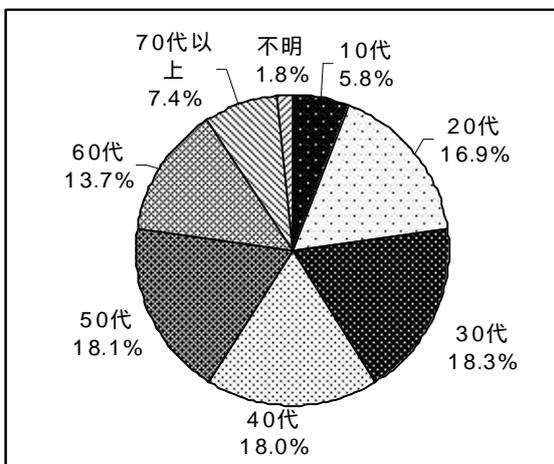


表 -2 年代

年齢	人数(人)	構成比(%)	回収率(%)
15～19	111	5.8	37.0
20～29	321	16.9	32.1
30～39	347	18.3	38.6
40～49	342	18.0	57.0
50～59	344	18.1	57.3
60～69	261	13.7	65.3
70～79	140	7.4	70.0
不明	35	1.8	-
計	1,901	100.0	47.5

1-(3) 職業

職業別では、「会社員・団体職員」が31.4%、「主婦」が14.9%などとなり、前回の調査と似通った構成比となっている。10代を対象としたことにより、「学生」の割合が8.8%（前回の調査1.0%）に増えている。「その他」は、フリーライター、僧職などの自由業、看護師、歯科衛生士などの専門職、塾講師、官公庁の臨時職員等である。

図 - 3 職業 n=1,901

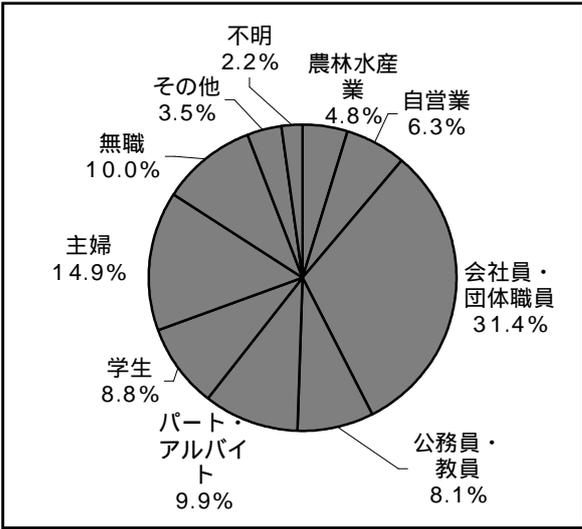


表 - 3 職業

職業	人数 (人)	構成比 (%)
農林水産業	91	4.8
自営業	120	6.3
会社員・団体職員	597	31.4
公務員・教員	154	8.1
パート・アルバイト	189	9.9
学生	168	8.8
主婦	283	14.9
無職	191	10.0
その他	67	3.5
不明	41	2.2
計	1,901	100.0

1-(4) 居住地域

居住地域別では、旧鳥取市の回収率が最も低く42.4%であり、これは前回の調査の回収率を下回っている。旧町村では回収率が5割を超える地域が多く、旧町村全体では50.7%の回収率となった。

図 - 4 居住地域 n=1,901

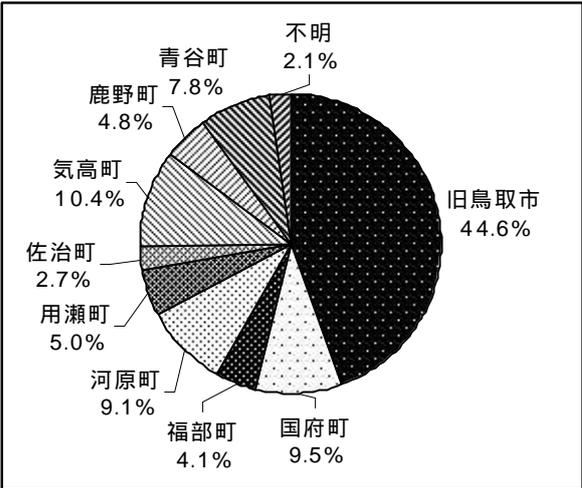


表 - 4 居住地域

居住地域	人数 (人)	構成比 (%)	回収率 (%)
旧鳥取市	847	44.6	42.4
国府町	180	9.5	51.7
福部町	77	4.1	53.5
河原町	173	9.1	51.5
用瀬町	95	5.0	55.9
佐治町	51	2.7	45.5
気高町	198	10.4	49.5
鹿野町	91	4.8	53.5
青谷町	149	7.8	46.6
不明	40	2.1	-
計	1,901	100.0	47.5

1-(5) 居住年数

回答者のうち、居住期間が5年未満の短期居住者が12.7%、5年～15年の中期居住者が15.9%、15年以上の長期居住者又は生まれてからずっと居住している永住者が71.4%を占めている。旧町村の回答者では、長期居住者の占める割合が高くなっている。

図 - 5 居住年数（居住地別）

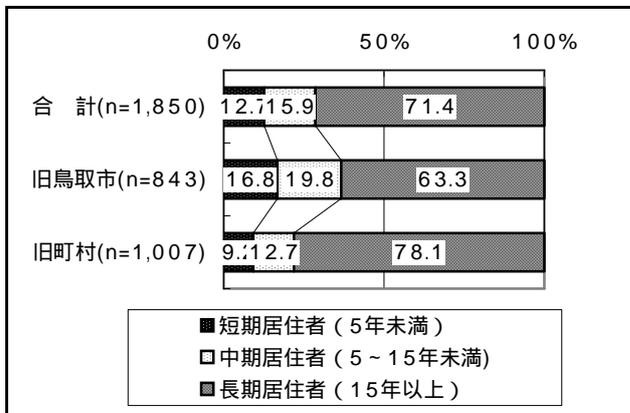


表 - 5 居住年数

居住年数	全体	構成比(%)
1年未満	41	2.2
1年～3年未満	103	5.4
3年～5年未満	91	4.8
5年～10年未満	160	8.4
10年～15年未満	136	7.2
15年～20年未満	190	10.0
20年以上	621	32.7
生まれてからずっと	513	27.0
不明	46	2.4
計	1,901	100.0

1-(6) 家族構成

回答者の家族構成を平成12年の国勢調査の結果¹と比較すると、一人暮らし世帯の回答者の割合が若干少なめになっているものの、全体的にはほぼ似通った構成比となっており、実態が反映された結果となっていることがわかる。

表 - 6 家族構成

家族構成	人数	構成比(%)
ひとり暮らし	82	4.3
夫婦のみ	229	12.0
2世代	904	47.6
3世代	593	31.2
その他	51	2.7
不明	42	2.2
計	1,901	100.0

図 - 6 家族構成 n=1,901

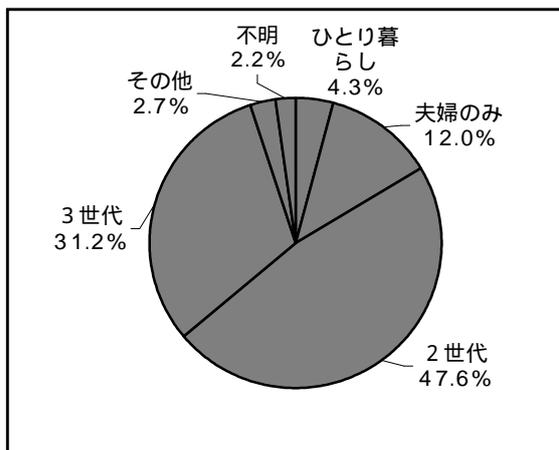
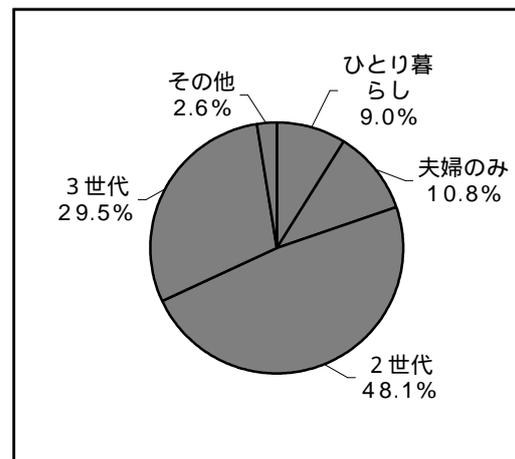


図 - 7 平成12年国勢調査における世帯の家族類型（一般世帯員）



¹ 総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/> 「平成12年度国勢調査（世帯の家族類型）」より、合併して鳥取市となった9市町村のデータを合計して作成した。

1-(7) 住居の形態

回答者のうち、一戸建て持ち家に居住する者が 82.2%と 8 割を超えている。居住地別では、旧町村で 92.4%、旧鳥取市で 73.1%となった。

図 -8 住居の形態 n=1,901

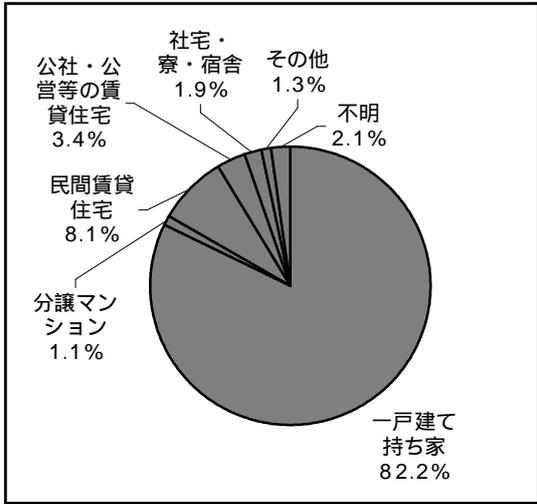


表 -7 住居の形態

住居の形態	人数	構成比
一戸建て持ち家	1,562	82.2
分譲マンション	20	1.1
民間賃貸住宅	154	8.1
公社・公営等の賃貸住宅	64	3.4
社宅・寮・宿舎	37	1.9
その他	24	1.3
不明	40	2.1
計	1,901	100.0

1-(8) 通勤（通学）先

回答者のうち、約 7 割が旧鳥取市へ通勤・通学している。

居住地別では、旧町村に居住する勤務（通学）者の 5 割が旧鳥取市へ通勤・通学していることがわかる。

図 -9 勤務（通学）先（居住地域別）

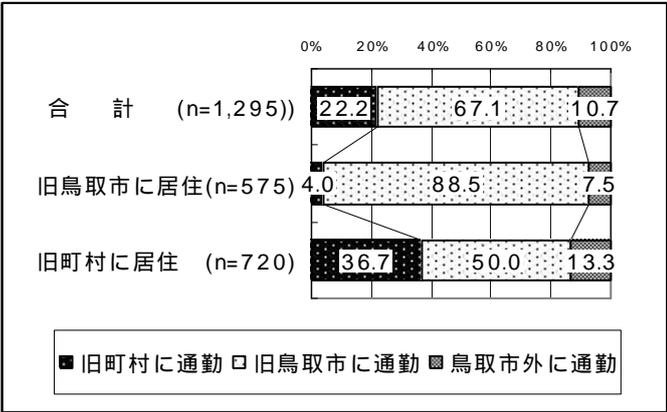


表 -8 勤務（通学）先（居住地域別）

単位%

	旧町村に通勤（通学）	旧鳥取市に通勤（通学）	鳥取市外に通勤（通学）
旧鳥取市に居住 (n=575)	4.0	88.5	7.5
旧町村に居住 (n=720)	36.7	50.0	13.3

1-(9) 通勤（通学）手段

通勤（通学）者のうち、7割を超える回答者は自家用車で通勤しており、旧町村の居住者では約8割となっている。一方、バスでの通勤（通学）者はわずか2.4%であり、鉄道と比較しても利用度の低さを表している。

図 -10 通勤（通学）手段 n=1,330

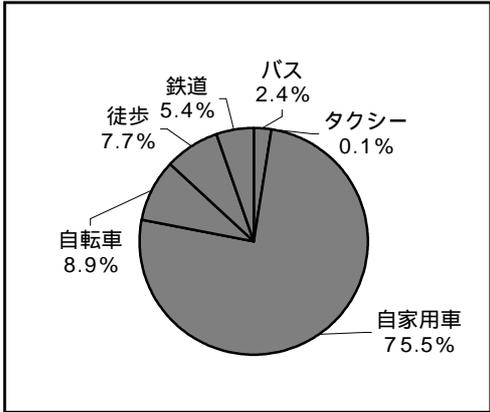


表 -9 通勤（通学）手段

通勤手段	人数（人）	構成比(%)
バス	32	2.4
タクシー	1	0.1
自家用車	1,004	75.5
自転車	118	8.9
徒歩	103	7.8
鉄道	72	5.4
計	1,330	100.0

図 -11 通勤（通学）手段（居住地域別）

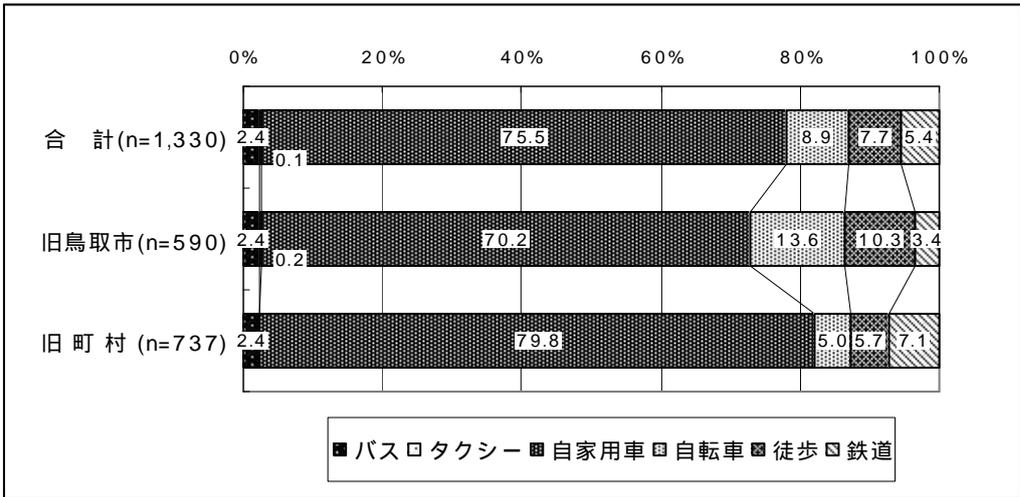


表 -10 通勤（通学）手段（居住地域別） 単位%

	バス	タクシー	自家用車	自転車	徒歩	鉄道
旧鳥取市 (n=590)	2.4	0.2	70.2	13.6	10.3	3.4
旧町村 (n=737)	2.4	-	79.8	5.0	5.7	7.1